

# 講演会①

10 月 16 日 (日) 14:00~15:30

## 「群馬の東山道とうさんどうえきろ駅路とこれが解き明かした地域の歴史」

小宮 俊久 氏 (太田市教育委員会 文化財課)

## 「土器から見た地域間交流

### —畿内産土師器と関東系土師器—

桜岡 正信 氏 ( (公財) 群馬県埋蔵文化財調査事業団)

奈良時代、都から東日本に向かって古代の「ハイウェイ」、東山道とうさんどうえきろ駅路が敷かれ、古代の人々は、このルートを紹介して、行き来していました。

群馬と都、群馬と東北との間で、想像を超えるような活発な交流が行われていたことが、近年の研究で判明しつつあります。



太田市下原宿遺跡 推定東山道駅路  
(太田市教育委員会)

●会場：群馬県立歴史博物館 視聴覚室

●定員：70 名

●参加費：当日の観覧券が必要です。

企画展観覧料 (常設展も含む)：一般 800 円

常設展観覧料：一般 300 円

●申込方法：9 月 16 日 (金) より、電話による事前申込が必要です。

027-346-5522 (開館日の 9:30~17:00)

※新型コロナウイルス感染症の拡大などの社会情勢により、内容を変更・中止する場合があります。

群馬県立歴史博物館

高崎市綿貫町 992-1 (群馬の森内)

TEL. 027 (346) 5522

